

〈解答〉

- ① 1 イ  
2 〔例〕地方の特産物などを納める。  
3 ①：国風 ②：仮名  
4 イ→ウ→ア→エ（完答）  
5 イ  
6 エ  
7 (1) 伊能忠敬 (2) 工場制手工業〔マニュファクチュア〕

配点 ①2は2点，他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 X漢の歴史書によれば，1世紀の半ばに現在の福岡平野にあった倭の奴国の王が，漢に使いを送り，皇帝から金印を授けられたとある。江戸時代に志賀島（福岡県）で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は，そのときのものと考えられる。Y中国では6世紀末に，隋が南北朝を統一して強大な帝国をつくり上げた。そこで日本は，東アジアでの立場を有利にし，隋の進んだ制度や文化を取り入れようと，607年に小野妹子らを送って以後，数回にわたって隋に使者を送った。
- 2 租，調，庸は，律令制において，一般の人々が負担した税である。このほかにも兵役の義務が課され，中には，防人として九州北部の防衛に送られる者などもいた。
- 3 平安時代半ばに発達した，日本風の生活感情に合った貴族の文化を国風文化といい，摂関政治のころに最も栄えた。仮名文字の発明により，紫式部の「源氏物語」や，清少納言の随筆「枕草子」など，女性による文学作品も多く生まれた。
- 4 1221年，朝廷の勢力を取り戻そうとして後鳥羽上皇がおこした承久の乱のあと，幕府は京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視し，幕府の支配力を東国だけでなく，西国に広げた。イ御成敗式目（貞永式目）は，1232年，北条泰時が定めた鎌倉幕府の法律で，武士の社会で行われていた慣習にもとづいて定められた。武士の最初の法律で，のちの武家法の手本となった。ウ永仁の徳政令は，1297年，鎌倉幕府が御家人の苦しい生活を救うために出した，借金を帳消しにする法令である。ア建武の新政は，1333年の鎌倉幕府の滅亡後，後醍醐天皇が京都で行った政治である。公家〔貴

族] 中心の政治をすすめようとしたため、武士たちの不満をまねき、足利尊氏が兵をあげると、新政は2年ほどでくずれた。工勘合貿易は、1404年に倭寇の取りしまりを条件に足利義満が明と始めた貿易である。勘合とは明が貿易を統制するために用いた合札で、正式な貿易船と倭寇を区別するために用いた。

- 5 鉄砲は戦国大名に注目され、堺（大阪府）や国友（滋賀県）などでは、刀鍛冶の職人によって鉄砲がつくられるようになった。堺は15世紀後半より勘合貿易で発展し、16世紀には南蛮貿易で栄えた。やがて有力な商人を中心に自治を行っていたが、織田信長に自治を奪われた。
- 6 豊臣秀吉は1590年に関東の北条氏をたおし、全国を統一した。1587年、豊臣秀吉はバテレン〔宣教師〕追放令を出して宣教師の国外追放を命じた。キリスト教と南蛮貿易を分離できると考えた豊臣秀吉は、ポルトガル船や商人の来航は従来通り認める方針をとった。ア、イは江戸幕府の政策。ウは織田信長の政策である。
- 7(1) 伊能忠敬は、北は蝦夷地から南は九州の屋久島まで、約17年かけて自分の足で歩き、測量して日本地図をつくった。
- (2) 工場制手工業〔マニファクチュア〕は、江戸時代後期にあらわれた工業生産の方法で、働く人々を農村から集め、工場で分業によって生産を行う方法である。尾張の綿織物業や足利・桐生の絹織物業などに見られた。